



イネドロオイムシ

チョウ目害虫



箱処理で、移植後も守る！

いもち病

紋枯病

移植後も守る！



あの、クロラントラニリプロールを配合！

定評の殺虫成分「クロラントラニリプロール」を配合した水稻箱施用剤です。悩ましいチョウ目害虫をはじめ、抵抗性イネドロオイムシも、長期間抑制。さらに、稻の2大病害であるいもち病や、紋枯病の感染もしっかり防ぎます。

クロラントラニリプロール
〔抵抗性イネドロオイムシ・各種チョウ目害虫に卓効〕

トリシクラゾール
〔いもち病に優れた効果〕

チフルザミド
〔紋枯病をしっかり防ぐ〕

アドニス[®]GT

箱粒剤

稻育苗箱専用 殺虫殺菌剤

®は日産化学工業(株)の登録商標



アドニス[®]GT 箱粒剤

■登録番号：第23687号
 ■有効成分：クロラントラニリプロール 0.75%
 チフルザミド 3.0%
 トリシクラゾール 4.0%
 ■容 量：1kg入

1 定評の殺虫成分を配合! 「クロラントラニリプロール」

各種チョウ目害虫や、抵抗性イネドロオイムシなど、悩ましい害虫の被害を長期にわたって抑えます。

2 稲の2大病害の感染も、 しっかり予防!

いもち病に有効な成分「トリシクラゾール」と、紋枯病に卓効を示す成分「チフルザミド」も配合しています。

クロラントラニリプロール

〔抵抗性イネドロオイムシ、各種チョウ目害虫に卓効〕

トリシクラゾール

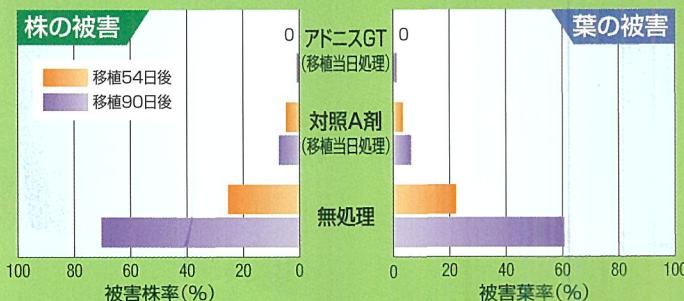
〔いもち病に優れた効果〕

チフルザミド

〔紋枯病をしっかり防ぐ〕

■コブノメイガに対する防除効果

平成26年 山口県農林総合技術センター



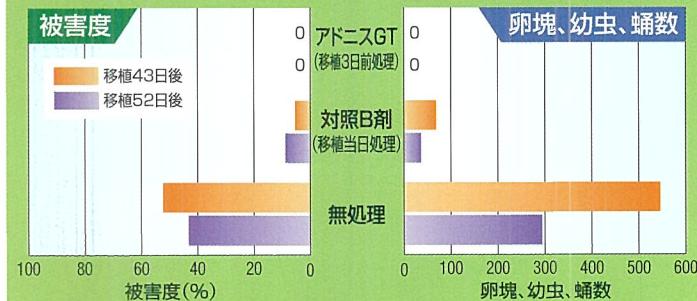
発生状況／第1世代:少、第2世代:少 品種／ヒノヒカリ

播種日／5月27日 移植日／6月20日

調査方法／1区72m²-2区2連制、移植54日後、90日後各50株の上位3葉の被害葉調査

■イネドロオイムシに対する防除効果

平成26年 宮城県植物防疫協会



発生状況／中発生(放虫) 品種／ひとめぼれ 播種日／3月29日 移植日／5月5日

調査方法／1区108~36m²1連制、300株/区調査

被害度=(4A+3B+2C+D)/(調査株数×4)×100、A:食害葉率が51%以上の株数、

B:食害葉率が31~50%、C:食害葉率が16~30%、D:食害葉率1~15%

■適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稻(箱育苗)	いもち病、紋枯病 イネミズゴウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm) 使用土壤約 5L 1箱当たり50g	移植3日前～当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する

クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)

■使用上の注意事項

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 葉の黄化、葉先枯れ等薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 稻苗の葉が濡れていると薬害を生じやすいので散布直前の灌水はしないでください。
- 移植後低温が続いた場合の活着遅延が予想される場合は使用をさせてください。また、移植後極端な高温(30°C以上)が続くと予想される場合も使用をさせてください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行ない、移植後田面が露出しないように注意してください。移植後直ちに入水し、水深2~3cm程度に保ち、極端な浅水や深水は薬害の原因となるのでさせてください。
- 深植では薬害を生じやすいので深植にならないように注意してください。

- 育苗箱の土壤が乾燥していて、苗を田植機に乗せる際、薬剤落下のおそれがある場合は散布後灌水してください。

- 本田が砂質土壤の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさせてください。

- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2017年6月現在の登録内容に基づいています。



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込2丁目28-8

<http://www.kaken.co.jp>